

---

# IBM Watson を活用した モバイル・セキュリティの洞察と分析

不十分な MDM では状況を把握しきれません。  
コグニティブ UEM 向けの IBM MaaS360  
with Watson なら隅々まで把握できます

## モバイル関連の枝葉末節に圧倒されていませんか?

今日のモバイル情勢は、数年前とは大きく異なります。実際、毎月 790 万ものモバイル・アプリケーションがダウンロードされ<sup>1</sup>、毎分 387 の新たなマルウェアの脅威が特定されるなか<sup>2</sup>、状況は一夜にして変わりかねません。常に進化を続けるモバイル・ワールドで、企業は働き手の生産性を日々維持しながら、セキュリティーの確保に懸命に取り組んでいます。また、モバイル・データを活用したビジネス価値の付与も困難な注文になりかねません。

モバイル環境を戦術的にコントロールしようとしていますが、多くの IT マネージャーが枝葉末節に振り回されているのが現状です。変動要素の数があまりにも多いため、最新の脅威を常に把握することは不可能です。ましてや、現在収集されている大量のデータから意味を抽出したり、データに基づいて意思決定を行うことはなおさら困難です。事後ではなく、事前の管理を推進するモバイル・テクノロジー・ツール専用に向けられる IT リソースは限定的で、全社的なモバイ

ル・インテリジェンスに対する可視性も限られているため、多くのマネージャーは、セキュリティーまたは生産性のいずれかを選択して労力を集中させる必要があります。

ビジネスの競争力を維持するにあたり、モバイル・コンピューティングがいかに重要な役割を担うかを考えれば、企業がセキュリティーと生産性をうまく両立させ、モビリティが意味する大きな潜在的ビジネス価値を活用することは、かつてないほど重要です。豊かな洞察を事前に提供することで、企業は純粋に戦術的な管理アプローチから、業界データやベスト・プラクティスにより情報を獲得し、IT の効率性を実現するために最適化され、企業と各ユーザーに適した戦略的な管理アプローチへと移行できます。この新たなパラダイムが、旧来のモバイル・デバイス管理 (MDM) ソリューションと、コグニティブ機能を活用した統合エンドポイント管理 (UEM) による新しい、よりスマートなアプローチとの違いです。

**472:** 大幅にモバイル化されている企業の管理下にある平均アプリケーション数<sup>3</sup>

▶ モバイル・セキュリティーに関する[最新の統計](#)を、この IBM インフォグラフィックをご覧ください。

1. Jeremy Sacco, "[App downloads soar in October](#)," *The Fiksu Blog*, November 24, 2015.

2. "[McAfee Labs Threat Report](#)," *McAfee Labs*, February 2015.

3. "[The Massive Mobile Migration](#)," *IBM*, April 27, 2016.



# IBM MaaS360 with Watson が提供する洞察と分析

モバイル・プラットフォームへと大規模に移行が行われた結果、まずはモバイル・デバイス管理として始まったものが、徐々にエンタープライズ・モビリティ管理 (EMM) へと進化を遂げ、MDM と、アプリケーション、コンテンツ、個人所有端末の業務使用 (BYOD) 環境などを管理し保護するために必要な機能を網羅するようになっていきます。

進化の次のステップにより、スマートフォン、タブレット、ラップトップ、デスクトップ、ウェアラブル、モノのインターネット (IoT) 用に設計されたデバイスなど、多種多様なデバイスが登場し、統合エンドポイント管理 (UEM) という用語が生まれました。IBM® MaaS360® は、エンドポイント、ユーザー、グループと、そのアプリケーション、コンテンツ、データを管理し保護する以上のことを行う、独自のアプローチを切り開き UEM に取り組んでいます。MaaS360 が見せた進化は単なる一歩前進ではなく、任意の企業の IT 環境、あるいは業界全体に対しても、ビッグデータ分析やコグニティブ・コンピューティングにより提供可能な深い洞察を活用するという、大きな飛躍です。

新たなコグニティブの時代を先導する IBM のリーダーシップに沿うかたちで、MaaS360 を深い洞察とクラウド・ベースの分析と合わ

▶ [コグニティブ・アプローチで UEM に取り組むことの意味についての詳細はこちら。](#)

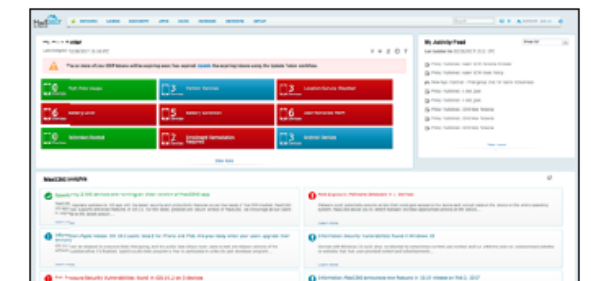
せて利用できるようになりました。IBM Watson® テクノロジーを活用し、業界をリードする、IBM X-Force® Exchange のセキュリティー・インテリジェンスに裏打ちされた、MaaS360 の洞察と分析は、以下を行うことでモバイル戦略から得られる投資収益率 (ROI) を加速し、最大化できるように企業を支援します。

- デジタル変革の機会の特定と活用
- セキュリティー・リスクの低減
- 従業員の生産性の向上
- IT オペレーションの効率向上
- 支出に関する意思決定など、さまざまな意思決定を多くの情報に基づいて行えるようにビジネスを支援

MaaS360 with Watson には、3 つの主要な機能があります。

- **Advisor:** 企業に合わせて調整された実行可能なインテリジェンスを提供
- **Mobile Security Index:** 業界初の公的に利用可能なモバイル・セキュリティー・スコアカードを提供
- **Mobile Metrics:** 業界初のクラウド・ソースのモバイル・ベンチマーク・データを提供

画像をクリックすると拡大表示されます。再度クリックすると、元のサイズで表示されます。



**MaaS360 with Watson** は、コグニティブ統合エンドポイント管理で、エンタープライズ・モビリティの新たな時代を先導します。





## MaaS360 ADVISOR:

# 環境に合わせて調整された、実行可能なインテリジェンス

Watson を活用する MaaS360 Advisor は、新たな脅威に関する的確なアラートに加え、業界のベスト・プラクティスに基づきコンテキストに応じた情報を提供する強力なコグニティブ・エンジンです。この実行可能なインテリジェンスは、構造化データ、非構造化データの両方から取得されており、企業の業種、規模、全社的に使用されているデバイスのタイプ、プラットフォーム、アプリケーションなどのモバイル環境に基づきカスタマイズされています。

MaaS360 Advisor が提供する洞察と推奨事項で、以下を実行できるようになります。

- ユーザーの生産性を高めるベスト・プラクティス、IT 最適化の推奨事項、潜在するセキュリティ脅威を**発見**。これらは、MaaS360 のダッシュボードで直接提供
- 何が洞察で、企業にとってなぜその洞察が重要かを**定義**
- ベスト・プラクティスやセキュリティ・リスクにより、デバイス、ユーザー、アプリケーションなどにどのような影響が及ぶかを**評価**
- インテリジェンスを**行動**に移し、ビジネス機会の開拓やセキュリティ脅威の修復を行う

MaaS360 Advisor から得られる洞察には以下のようなものがあります。

- Apple iOS、Google Android、Microsoft Windows、その他の OEM 製品で予定されているオペレーティング・システム (OS) のリリースに関する情報
- セキュリティー・ルールとポリシーのベスト・プラクティス
- IT 最適化モデルに基づく推奨事項
- 最近の脆弱性や詳細なリスク・エクスポージャー情報に基づいたポリシー変更やその他の修復措置
- 特定のリスクにさらされているデバイスの可視化
- Samsung Knox、Apple VPP/DEP、Android といった関連するセキュリティ・プログラムに関する情報
- 現在のアプリケーション・カタログのアプリケーションの使用状況と感情分析に基づく、モバイル・アプリケーションの推奨
- 同業者から収集した洞察に基づくその他の推奨事項

MaaS360 Advisor は、フィードバック・メカニズム、学習モデル、自動化を活用して、徐々に生産性を向上させ、IT 効率を高め、リスク・エクスポージャーを低減させます。また、推奨事項を提供してエンド・ユーザーへの通知や教育を促進し、洞察の価値を最大化します。

画像をクリックすると拡大表示されます。  
再度クリックすると、元のサイズで表示されます。



**Watson と組み合わせた MaaS360 Advisor は、拡張されたインテリジェンスと実行可能な洞察を提供します。**

▶ [コグニティブな統合エンドポイント管理についての詳細はこちら。](#)





## MOBILE SECURITY INDEX:

# 現在地の再確認

MaaS360 Mobile Security Index は、業界初の公的に利用可能なモバイル・セキュリティー・スコアカードです。また、お客様やお客様以外にも無料でご利用いただけるため、企業は MaaS360 の洞察と分析がどのようなものかを初体験できます。

このスコアリング・インデックスは、業界と地域的要件を考慮に入れ、現在の業界の構成データとベスト・プラクティスに基づくモバイル・セキュリティー評価を管理者に提供します。次に、業種、地域、企業規模といった基準に基づき、類似した企業に対する比較ポイントとしてベンチマークを提供します。これらの比較は、既存の MaaS360 の実装から得た膨大なデータに基づいています。

また、Mobile Security Index は、企業の全体的なセキュリティー態勢を向上させる具体的な推奨事項とベスト・プラクティスを提供します。最終目標は、世界中の企業や業界でモバイル・セキュリティーのベスト・プラクティスを育むことです。

全体的なスコアに加えて、Mobile Security Index は、次の 4 つのカテゴリーでスコアを提供します。

- 安全な接続
- デバイス・セキュリティー
- アプリケーション・セキュリティー
- データ・セキュリティー

企業は、簡単なオンラインのセルフ・アセスメントで、モバイル・セキュリティーの実装に関する質問に回答を入力するだけで、Mobile Security Index からスコアを生成できます。アセスメントの入力では、モバイル・デバイス、プラットフォーム、アプリケーション、ポリシーに対する企業のアプローチについて尋ねられます。

画像をクリックすると拡大表示されます。再度クリックすると、元のサイズで表示されます。



**MaaS360 Mobile Security Index は、企業のモバイル・セキュリティーに対するアプローチを評価し向上させるための第一歩です。**

▶ 自社の [Mobile Security Index](#) を今すぐ入手しましょう。



## MOBILE METRICS:

# ベンチマーク・データとベスト・プラクティス

MaaS360 Mobile Metrics は、全世界 12,000 以上の MaaS360 のお客様での実装の総計データを活用して、業界初のクラウド・ソースのモバイル・ベンチマーク・データを提供します。このデータは、幅広い企業タイプとモバイル実装を反映しており、お客様は自社のセキュリティ構成と使用状況に関するデータを、類似した業種や規模などの基準で同業者と比較できます。

Mobile Metrics で、モバイル環境を明確に描き出し、多くの情報に基づき意思決定を行い、企業のセキュリティ・ポリシーをより大きなコンテキストで評価できるようになります。例えば、お客様は自社のパスワード要件、ブラックリストに載せているアプリケーション数、任意のプラットフォーム上のデバイス数を同業者のものと比較できます。

また、予測と予測モデルで、Mobile Metrics は、企業が新しいモバイル・アプリケーションの普及率を類似企業の経験に基づき予測したり、ユーザーの生産性を向上させる他の潜在機会を特定したりできるように支援します。

Mobile Metrics は、正常性、コンプライアンス、セキュリティについてのベンチマークに対し、企業環境を比較できるようにします。以下が含まれます。

- デプロイメント
- デバイス
- アプリケーション
- セキュリティー

画像をクリックすると拡大表示されます。  
再度クリックすると、元のサイズで表示されます。



**MaaS360 Mobile Metrics** は、業界や企業規模のベンチマーキングを可能にします。

▶ [SecurityIntelligence.com](#) のブログ投稿で、Mobile Metrics についての詳細をご確認ください。





## ◀ IBM をお勧めする理由

MaaS360 with Watson は、IBM から独占的に提供されているテクノロジーとインテリジェンスを通じて実現された、業界初の生産性とセキュリティー・ソリューション一式をコグニティブな統合エンドポイント管理向けに提供しています。Watson を活用することで、MaaS360 の洞察と分析は、12,000 を超える MaaS360 の実装から収集された統合クラウド・ソース・データの情報を取得し、IBM X-Force Exchange セキュリティー・コミュニティにより裏打ちされています。

そしてこれは始まりに過ぎません。コグニティブ機能が追加されるにつれ、MaaS360 with Watson は、さらなる知識とコンテキストを構築し、よりスマートなアプローチでエンドポイントからエンド・ユーザーまですべてを保護し有効化します。これらの機能により、ビジネスのデジタル変革における有用かつ信頼できるアドバイザー兼パートナーが誕生します。

**IBM MaaS360** コグニティブ統合エンドポイント管理は、単一プラットフォームを通じてデバイス・アプリケーションとコンテンツ管理に強力なセキュリティーを組み合わせ、ユーザー・エクスペリエンスを損なうことなく、ユーザーの生産性を向上させ、セキュリティーを最大化できるようにします。IBM は、世界中の実装から収集したデー

タを MaaS360 にフィードバックし、コンテキストに応じた有意義なインテリジェンスの提供サイクルを継続します。

**IBM Watson** は、非構造化のテキスト、画像、音声、動画を含むあらゆる種類のデータを分析し、解釈できるコグニティブ・テクノロジーです。機械学習を活用して、アプリケーションやシステム内の対象分野の専門知識を増やします。Watson が提供する自然言語とデータ・マイニング機能は、がんの診断や治療法の決定から気象予報まで、難しい問題に幅広く対処するために使用されています。現在、Watson は MaaS360 と組み合わせられ、ビジネス変革のための統合エンドポイント管理に光を当てています。

**IBM X-Force Exchange** は、セキュリティー脅威に関する調査、セキュリティー・インテリジェンスの集約、同業者とのコラボレーションを促進するクラウド・ベースの脅威インテリジェンス共有プラットフォームです。X-Force Exchange は、IBM、オープン・ソース・プロジェクト、その他のサード・パーティーが提供するコンテンツを組み合わせ、脆弱性、IP アドレス、ドメイン、Web アプリケーションに関連する詳細情報をリアルタイムで提供します。これは、世界で最も認められたセキュリティー・リサーチ・チームの 1 つである IBM X-Force によりサポートされています。

▶ Web サイトで [IBM Watson](#) と [IBM X-Force Exchange](#) に関する詳細をご確認ください。

### IBM MaaS360



### IBM X-Force Exchange





# 詳細情報

IBM MaaS360 に関する詳細については、IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。 [ibm.biz/MaaS360JP](http://ibm.biz/MaaS360JP)

## IBM Security ソリューションについて

IBM Security は、エンタープライズ・セキュリティ製品およびサービスの最先端かつ統合されたポートフォリオの 1 つを提供します。このポートフォリオは、世界的に有名な IBM X-Force® 研究機関によってサポートされており、インフラストラクチャー、データ、アプリケーションを企業が全体的に保護できるように支援し、ID 管理とアクセス管理、データベース・セキュリティ、アプリケーション開発、リスク管理、エンドポイント管理、ネットワーク・セキュリティなどに対するセキュリティ・インテリジェンスを提供します。このようなソリューションにより、企業はリスクを効果的に管理でき、モバイル、クラウド、ソーシャル・メディアをはじめとするエンタープライズ・ビジネス・アーキテクチャー向けの統合セキュリティを実装できます。IBM は、世界最大級の規模を誇るセキュリティ研究・開発・提供機関を運用しており、130 カ国以上の国々で 1 日当たり 150 億件のセキュリティ・イベントをモニターし、3,000 件以上のセキュリティ関連の特許を保持しています。

さらに、IBM グローバル・ファイナンスはお客様のビジネスの成長に必要なテクノロジーの取得を支援するため、さまざまな支払いオプションをご用意しています。IBM は IT 製品およびサービスの取得から処分まで、全ライフサイクルの管理を提供します。詳細については、次の Web サイトをご覧ください。 [ibm.com/financing/jp](http://ibm.com/financing/jp)

© Copyright IBM Corporation 2017

IBM Security

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

Produced in Japan  
March 2017

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Watson、MaaS360 および X-Force は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

適切なセキュリティの実施について: IT システム・セキュリティには、企業内外からの不正アクセスの防止、検出、および対応によって、システムや情報を保護することが求められます。不正アクセスにより、情報の改ざん、破壊もしくは悪用を招くおそれがあり、またはシステムの損傷や、他のシステムへの攻撃を含む悪用につながるおそれがあります。完全に安全と見なすことができる IT システムまたは IT 製品は存在せず、また単一の製品、サービスまたはセキュリティ対策が、不正アクセスを防止する上で完全に有効となることもありません。IBM のシステム、製品およびサービスは、合法的で包括的なセキュリティの取り組みの一部となるように設計されており、これらには必ず追加の運用手順が伴います。また、最高の効果を得るために、他のシステム、製品、またはサービスを必要とする場合があります。IBM は、何者かの悪意のある行為または違法行為によって、システム、製品、またはサービスのいずれも影響を受けないこと、またはお客様の企業がそれらの行為によって影響を受けないことを保証するものではありません。